

お知らせ

2019年8月24日  
株式会社ジュピターテレコム  
株式会社 囲碁将棋チャンネル

「第8回 J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会」開催  
全国優勝は大阪府出身の酒匂 景大さん(13歳)  
全国で約1,000名が参加！子ども棋士の頂点が決定！



決勝戦の対局の様子



左から佐藤天彦銀河、優勝者の酒匂景大さん、加藤桃子女流三段

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井村公彦、以下 J:COM)、株式会社 囲碁将棋チャンネル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:倉元健児)、公益社団法人日本将棋連盟は、人気漫画『3月のライオン』(白泉社刊)とコラボレーションし、小・中学生を対象とした将棋大会「第8回 J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会」を開催いたしました。2019年5月から7月にかけて全国8つの会場で地区大会を開催し、地区大会を勝ち抜いた16名が2019年8月24日(土)に公益社団法人 日本将棋連盟の本拠である東京将棋会館で行われた全国大会に出場しました。決勝戦では、大阪府出身の酒匂 景大さん(13歳)が勝利を収め、全国大会の優勝を飾りました。決勝戦の様子は2019年10月19日(土)20時より、囲碁・将棋チャンネル(J:COM TV 700ch)、2019年10月23日(水)20時より、J:COMのコミュニティチャンネル「J:COM テレビ」でお楽しみいただけます。

「J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会」は、小中学生に将棋の楽しさを知ってもらうとともに、将来の棋士を目指す小・中学生の登竜門となることを願って2012年から開催しております。

本年から新たに開催された中国大会(広島)と東海大会(名古屋)を含めた全国8つの会場で、全国大会を目指す「全国クラス」と将棋を楽しく指す「交流クラス」の参加者を募集し、全国で1,000名が参加しました。将棋が指せる小中学生であれば誰でも無料で参加でき、途中敗退しても地元大学生や奨励会員と対戦し指導を受けられるため、子どもたちが一日中将棋と触れ合える大会です。

今年の地区大会では地元自治体との連携が強化され、将棋文化の普及を推進されている「将棋のまち」高槻市では市の後援のもと、西日本ブロック 関西大会を開催しました。当日は濱田剛史 高槻市長も来場され官民一体となり、将棋の楽しさに触れる機会の創出、対局を通じチャレンジする精神と将棋から学べる礼儀作法を身に着ける場を多くの子どもたちに提供できました。

J:COMと囲碁・将棋チャンネルでは、これからも「J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会」を通じて子どもたちの夢の実現のため、楽しく学び、友情を育む機会を創出するとともに、大会を通じて将棋の普及に貢献してまいります。

<優勝者 酒匂 景大さん(13歳)のコメント>

今回は初めて全国大会に出場でき、そして優勝できたのでとても嬉しいです。この1年全国大会出場を目指し、日々将棋の勉強を積み重ねてきました。色々な地域の人と将棋を指すことができたので、とても楽しい大会でした。

<審判長・解説 佐藤天彦銀河からのメッセージ>

今回は全国大会ということで、集まった16名皆さん緊張感があり気合の入った表情でした。決勝戦はレベルの高い将棋で、解説していて感心させられる場面もありました。またこういった将棋大会に参加することで同年代の子どもたちの交流につながると思います。初めて会う子であっても、勝負の後には感想戦で意見交換をすることで友達になることもできるので、将棋は盤上も含め「コミュニケーションツール」でもあります。将棋そのものが子どもの個性を出す場であると思いますので、個性をぶつけあい切磋琢磨できる、いい出会いの場となる大会だと思います。

<子どもたちへメッセージ>

将棋が何百年と続いているのは、将棋の面白さがあるからこそです。まずは将棋を楽しんでほしいです。まだ将棋を指したことがない子は、駒とか盤に親しめる遊びもあるのでそういったところから、将棋に触れてほしいです。



左から加藤桃子女流三段と佐藤天彦銀河  
決勝戦の大盤解説の様相

<大会概要>

大会名	「第8回 J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会」
クラス	全国クラス: 地区大会の成績上位者が全国大会に進出 交流クラス: 将棋を楽しく指すクラス(地区大会の入賞者には大会ごとに賞品進呈)
参加費	無料
地区大会	<東日本ブロック> 東北大会(5月12日) / 北海道大会(6月1日) <関東ブロック> 北関東大会(7月6日) / 南関東大会(7月31日) <西日本ブロック> 関西大会(7月26日) / 九州大会(5月25日) 東海大会(7月21日) / 中国大会(6月29日) 全国8会場で開催。各地区大会にはトップクラスのプロ棋士が来場し審判を務め、大盤解説も実施するほか、奨励会員などの指導対局も実施。
全国大会	2019年8月24日(土) 会場: 東京将棋会館 (4階のプロ棋士が使用する対局室を使用。決勝戦は地下1階のスタジオで収録、後日録画放送されます)

<放送概要>

番組名	『第8回～J:COM 杯 3月のライオン子ども将棋大会～』
放送予定①	2019年10月19日(土) 20:00～21:36(予定) 「囲碁・将棋チャンネル」(J:COM TV 700ch)
放送予定②	2019年10月23日(水) 20:00～21:36(予定) 「J:COM テレビ」 「J:COM」の有料サービスの加入・未加入を問わず、「J:COM」のネットワークが接続されている建物にお住まいであれば、無料でご視聴いただけます。 《チャンネル番号》 札幌・仙台・関東エリア:10ch、関西・福岡・北九州エリア:12ch、下関エリア:111ch、熊本エリア:11ch ※大分ケーブルテレコムエリアでは、ご視聴いただけません ※視聴可能エリアの確認 <a href="https://www.jcom.co.jp/area_search/">https://www.jcom.co.jp/area_search/</a>
詳細ページ	<a href="https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/2018.shtml">https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/2018.shtml</a>

参考情報

『3月のライオン』について 公式サイト: <https://3lion.younganimal.com/>

主人公・桐山零は17歳のプロの将棋の棋士。幼い頃、事故で家族を失った零は心に深い孤独を抱え、将棋に対する中途半端さを思い悩みながら日々を過ごしていた。そんな中で出会った川本家の3姉妹(あかり・ひなた・モモ)と接するうちに、零の心は少しずつ溶け始めていく……。河の流れのように進む優しいラブストーリーです。2007年から青年コミック誌『ヤングアニマル』(白泉社)にて連載中。将棋監修 / 先崎学九段。取材協力 / 日本将棋連盟。

2011年に第4回マンガ大賞、第35回講談社漫画賞一般部門、2014年に手塚治虫文化賞マンガ大賞、2015～2017年にダ・ヴィンチ BOOK OF THE YEAR(コミックランキング1位)を3年連続で受賞中。



(C)羽海野チカ / 白泉社

## **ジュピターテレコムについて** [www.jcom.co.jp/](http://www.jcom.co.jp/)

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社71局を通じて約551万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,161万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※世帯数は2019年6月末現在の数字です。

## **囲碁・将棋チャンネルについて** <http://www.igoshogi.net/>

1990年8月2日設立、J:COM、ケーブルテレビ、スカパー!、ひかりTVで視聴できる囲碁と将棋の専門チャンネル。囲碁・竜星戦、将棋・銀河戦の対局を中心に、棋譜解説番組や講座、棋力認定番組など、24時間365日放送している、日本で唯一の専門チャンネルです。